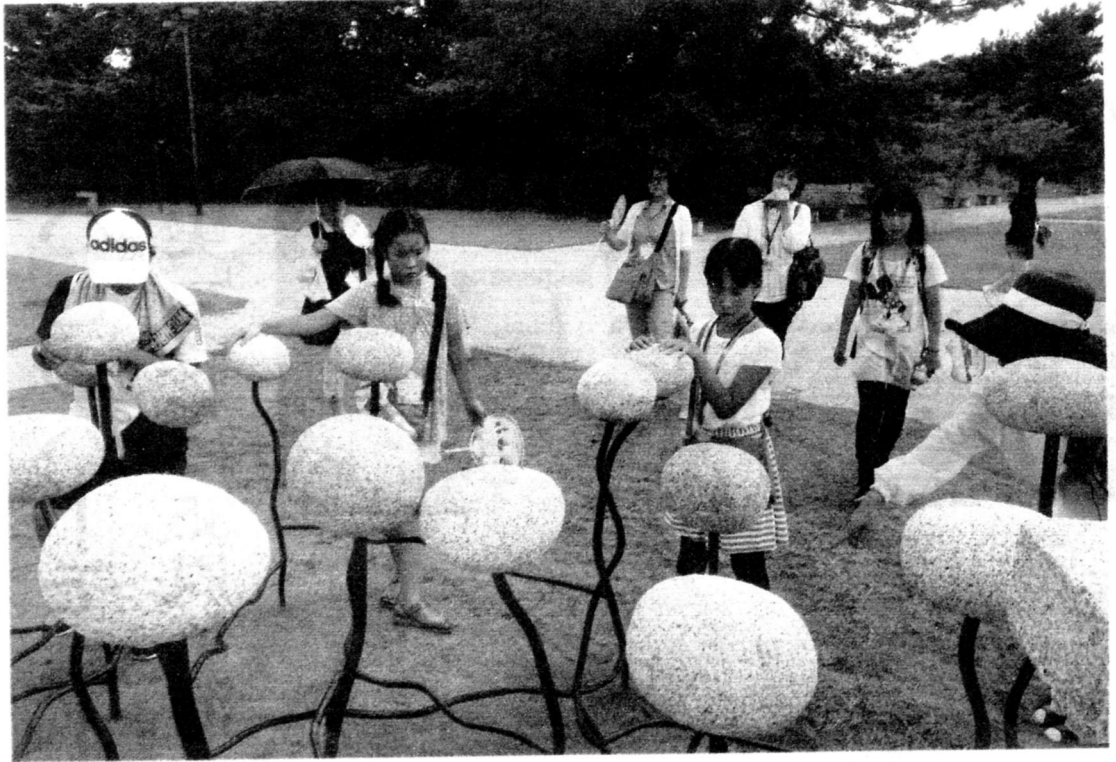


宇部のシンボル野外彫刻を見学する参加者(常盤公園で)



# 常盤公園の自然を満喫

## 彫刻や熱帯植物館を観賞

### 対馬の小学生ら、スタディツアー

宇部市の自然や環境を学ぼうと、長崎県対馬市の小学生7人が21日、来

市し、常盤公園で次世代エネルギーパークの取り組みへの理解を深め、豊かな自然を満喫した。

2012年7月に宇部で開かれた「中国・九州地区環境先進自治体首長サミット」で、宇部、対馬市、熊本県水俣市が連携と交流を深める共同宣言を行った。

が両市の子供たちを受け入れた。

来市したのは対馬市内の小学4～6年生7人と保護者。常盤公園では、昨年対馬市を訪れた宇部の小学6年生5人と合流し、電気バスに乗って、彫刻や風力発電設備、石炭記念館、熱帯植物館を巡った。

リニューアル工事が進む動物園ゾーンでは、工事区域に入り、動物園の役割と新しい取り組みを学んだ。

ときわミュージアムでは環境クイズにも挑戦。

昨年ツアーに参加した西宇部小6年の渡辺鼓波君は「植物園などを見てもらいたい」と歓迎。対馬の子供たちも「いろいろ巡って勉強したい」と語った。久保田后子市長も、歓迎のあいさつを述べ、記念写真に納まった。

対馬からの一行は22日に宇部興産グループ総合案内施設「UBE Plaza(ユービィー・アイ・プラザ)」や工場群、美祢市の同社伊佐工場、秋芳洞、カルストロードを訪れ、23日に帰途に就く。(古重)